

事務事業名		通学路整備事業(市道蛸ノ浦合足線)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分	
	基本事業名	01 生活道路の整備		期間限定複数年度	
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入	
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】	
	課長名	長岩 智徳		令和2 年度～ 令和4 年度	
	係名	土木係	電話	0192-27-3111	
	担当者	新沼 大輔	内線	316	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				※全体計画欄の総投入量を記入	
通学路交通安全プログラムに基づき、児童生徒等が安全に登下校できるように、安全対策が必要な箇所に対して、歩道等の整備を実施し、安全な通学路の確保を図ることを目的に、歩行者空間を確保するものである。 事業費は委託費、土地購入費、補償費、工事費、事務費として支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量(千円)	
				事業費	
				財源内訳	
				国庫支出金	62,019
				都道府県支出金	0
				地方債	45,200
				その他	0
				一般財源	5,545
				事業費計(A)	112,764
				正規職員従事人数	7
				延べ業務時間	960
				人件費計(B)	3,840
				トータルコスト(A)+(B)	116,604

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位	
工事施工	ア	用地買収面積	m <sup>2</sup>
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	整備延長	m
令和4年度事業完了	ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
市道蛸ノ浦合足線	名称	単位	
	カ	計画総延長	m
	キ	主たる利用者数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク		
市民(児童生徒)を交通事故から守り、交通事故が起こりにくい環境にする。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
	名称	単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ	道路整備総延長	m
児童生徒等が安心して通学できる歩行環境確保の実現。	シ	整備率	%
	ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	41,805	20,214	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	30,400	14,800	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	3,805	1,740	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	0	76,010	36,754	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	2	3	2	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	320	400	240	0	0	0	
		人件費計(B)	千円	1,280	1,600	960	0	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,280	77,610	37,714	0	0	0	
⑤活動指標	ア	m <sup>2</sup>	0	250	0	-	-	-		
	イ	m	0	0	355	-	-	-		
	ウ									
⑥対象指標	カ	m	355	355	355	-	-	-		
	キ	人	400	400	400	-	-	-		
	ク									
⑦成果指標	サ	m	0	0	355	-	-	-		
	シ	%	0	0	100	-	-	-		
	ス									

事務事業ID	1762	事務事業名	通学路整備事業(市道蛸ノ浦合足線)
--------	------	-------	-------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成24年度以降、全国各地で登下校中の児童生徒が被害にあふ事故が相次いで発生し、このことを受け、通学路の合同安全点検を行い、必要な対策を協議し、平成28年から実施している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	ガードレール、カーブミラーの設置要望のほか、側溝蓋の設置や側溝本体の入替えなどの補修要望が増えた。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	教育委員会、各小中学校、大船渡警察署、各道路管理者、要望者等による合同安全点検を行うことにより、現況の把握や情報の交換が行われ、関係者間での認識の統一が図られている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市道の通学路整備を行うことにより、より一層安全な道路となり、結果、安全なまちづくりの推進につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 通学路整備を行うことは、市道利用者(児童生徒)の一層の安全を確保するものであり、道路管理者として積極的に関与する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 通学路に限定することにより要望が絞り込まれ、併せて要件数の増減から通学路整備の充足状態が把握できる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 整備が妥当と判断された箇所でも実施できないものもあり、それらについては翌年度継続して要望されてくることから、優先して翌年度に実施する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 整備事業が遅れることにより、通学路整備事業全体の推進に悪影響を及ぼす。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 実施できていない箇所もあることから事業費の削減はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 大船渡地区、三陸地区ともに最少人数で対応しているため削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市内全域の市道が対象となりえるので、一部の受益者に偏っていない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 令和4年度に事業完了。																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和4年度に事業完了。通学路の安全確保が図られた。